

最も産兒力に富むのは十八歳以上二十歳以下の妻が二十四歳以上二十六歳の夫を有つた場合であります。

ロ、現行高等教育と産兒力 アメリカに於ける諸家の統計は現行の高等教育が男女の産兒力に悪影響を及ぼして居ることを示して居ります。

スタンレー、ホール氏は過度なる知識的發達は婦人をして母たる事を嫌忌させる傾向があると云つて居ります。

又ハーバート、スペンサー氏は産兒が少なかつたり、こどもがなかつたりするのは、一般に婦人の精神的作業の過度なるに因ると説いて居ります。

ハ、早婚と晩婚 出産の統計及び生物學上の考察から推せば、早婚の産兒は發育が不充分であり、晩婚者の産兒は多の早熟の傾向があります。(スタンレー、ホール氏)

許されて生きる この火宅にも似たらん世間を前にしては、欺かざる人心至深の本性の聲はおのづからに「許されて生きよ」と囁きます。「許されて生きる」とは絶対に

他を害はぬ生活、自ら求めて無理に生きようとしぬ生活、も一つ言ひ換へれば神に恵まれ佛に養はる、生活、或は又托鉢的生活懺悔奉仕の生活とも申せませうか。これは體驗による外、如實に説明すること困難であります、強いて云うて見れば、大凡世間一切の罪惡、何人として其の責を免かれる譯には参りません。此事は我々人間がもどく社會的生物であつて精神内容にしても生活資料にしても社會を度外視しては考へ得られない一事實に徴した丈でも明かであると思ひます。此の罪惡感が深刻になれば、必然の結果として、懺悔滅罪の所業を産み、己を擧げて神佛と一切の人に奉仕する生活をとるに至ります。人一度此の態度に出でんか、其の身邊に紫雲たなびき、接する者みな菩提心を起さないといふことがありません。かくて飲食衣服等必要に應じて供養されるに至ります。これ實に諸の古聖開山達の親しく行せられた道であつて、人生生活の眞偽は、唯この標準によつてのみ決定的に審別されます。「道心に衣食あり」とか「學ぶや祿その中にあり」とか乃至「一人入道九族生天、一家新レ生廢國可レ興」

どかは思ふにこの消息を洩らしたものでありませう。

教養者先づ親ら此の托鉢的生活に立ち、身を以て率ゐて兒童をして之に導き入らしむるに至らなければ、未だ其の任務を果したとは云へないと信じます。

大願に立たしめよ 大願とは何ぞや。曰く、

通じては 皆俱に大圓覺を成就し

別しては 世界の眞平和を將來するにあります。

これ實に人心本性の天真なる發露であつて、又古今内外一切の宗教の精髓に外ありませぬ。

世の父たり母たるもの、愛兒を導いて此の大願に參せしめ、かてく懺悔奉仕の生活に入らしむるを得ば、教養の能事以て終れるに近しとなすことを得べき乎否乎。

第五章 兒童の疾病

(一) 小さい兒の罹り易い疾病

第一 消化器系

瘰癧(しろした)

病因 乳哺兒の口中を授乳後よく清潔にして置かなかつたり、授乳の際、乳首の洗滌を怠つたりすると此の病に侵されます。

症状 これは一種の菌癩病でありまして、口中から咽喉まで一體に白い苔こけが生え、乳兒は乳を飲むことが出来なくなり漸次衰弱します。重いになりますと食道から胃の方までも蔓延します。

療法 十倍位の重曹水か硼砂水を作り、この中に浸したガーゼを子指にでも巻きつ

けて口中の白い苔を度々掛き取る様にするのです。尙癒らなかつたら三百倍位のカマンガン酸加里水を用ひなさい。

乳兒脚氣

病因 母親が自分で氣がつかぬ位な極輕症の脚氣に罹つて居る場合でも乳を飲ませると哺乳兒がこれに侵されます。

症状 第一元氣がなくなつてボンヤリします。顔色は悪くなり、泣聲もかれて來てヒュー／＼と云ふやうな泣方になります。又乳を吐き大便は綠色に變つて回數が多すぎたり少なすぎたりし、小便の通利も悪くなります。それから上睫は半ば垂れて眼が半開となりドンヨリして居ます。

療法 斷然母乳をやめて牛乳其他の營養物に代へることは勿論であります。前記のやうな症状が見えたら大事にならぬ内、醫者に診て貰ふことです。手遅れになりますと恢復の見込みがなくなり往々心臓麻痺で斃れます。

下痢症

病因 授乳の時間があまり不規則だつたり哺乳兒の體が冷れたりするとこれに侵されます。

症状 吐乳下痢を起し熱が出て機嫌が悪くなります。大便にはブツ／＼が交つて居り色は青綠色を呈します。併發症として臍「ヘルニヤ」にかゝることがあります。即ち臍の中へ小腸の一部が入り込んで來て泣く時臍が大きく膨脹れるのです。

療法 授乳は必ず三時間以上へだて、又その量を減らし身體殊に腹部脚部の冷えぬ様に注意すること。熱がひどい様でしたら頭部を水枕などにて冷やし灌腸の必要があります。下痢が甚だしければ乳を廢して薄い重湯をのませるがよい。

重湯の製法は米又は麥一猪口をよく洗ひ、水二合を入れて三十分間ほど煮、これを清潔な布で漉すのです。腹部は殊に保温の必要があります。

臍「ヘルニヤ」は本病が治せば従つて癒るものですが、猶軟かいものでしつかり腹巻

をしておく方がよろしいです。

小兒瘦削症(痺瘠)

病因 母乳に故障があつて他の營養物で養育する場合など兎角消化不良、營養不足になり勝ちで此の病にかゝるものです。

症状 顔色蒼白にして腋、股、脛のあたり皮たるむまで痩せ、腹部ばかり張つて居ります。

療法 母乳又は牛乳を正規通りに與へ(「哺乳兒の教養」参照)體が冷えぬ様にし、肌衣はまめに取り換へ、日あたりよき外氣中に自由に遊ばせ、入浴を怠らしめないこと。

便秘症

病因 授乳の方法が悪かつたり身體を冷やしたり又脊負つてばかり居て哺乳兒自身に運動が充分出來ないこと等。

療法 便通が二日もなければ灌腸した方がよい。哺乳兒の飲みものとして牛乳(水

飴を混すれば更に妙)は便通をつける傾向があります。果實の汁を與へることや、湯冷しを時に飲ませることもキ、メがありますが、第一に病因を去らねばなりません。

吐乳

療法 授乳後靜かにねせておくか、こどもが樂なやうに抱いてやりなさい。又乳を飲ませすぎないこと。

生齒困難

病因 は確とわかりませんが、生後四五ヶ月頃即ち齒の生える時分に哺乳兒は一種の病態を呈するものが多いです。

症状 熱が出たり下痢したり咳が出たり涎を多く垂らしたり又乳首を噛んだり、プツプツと無暗に吹いたりします。甚だしきに至つては痙攣たりするものもあります。

療法 病因が明瞭でないので一般衛生に氣をつけ、對症療法をするより仕方がありませんが、病狀の輕くない場合には醫者にお診せなさい。

胃腸カタル

病因 飲みすぎ食べすぎ若しくは身體を冷やすこと等。

症状 吐いたり下したり、腹痛を催うしたりして熱發を伴ふものが多い。

療法 こどもが母乳以外の食物をこる様になるとよく此の病にかゝるものです。飲食物を節することが第一です。よし與へるにしても重湯か、くづ湯に限りませす。又安臥させて温かにおき、あまり高熱ならば頭部を冷やし灌腸するがよい。腹痛の時は腹部を温めるに限る。

蛔蟲

病因 蛔蟲卵の居る生水又はよく煮焼きしない食物を飲食すると此の蟲が腸内に寄生します。

症状 蛔蟲が腸内にあまり多數わくと腹痛を發したり熱が出たりします。その痛み方は刺す様な抉る様な痛みで、時をおいて起つて來ます。痛みの場所は臍の周圍です。

この蟲の澤山わいて居る兒の眼の縁には暈輪が出來て居り、手指を鼻腔へ挿し入れて穿る癖があります。

療法 醫師に下虫しを貰つて服用すれば、みゝずの様な虫が下つて大抵すぐなほります。

第二皮膚病

たゞれ・あせば

療法 入浴の時よく石鹼で洗ひ、そのあとへ亞鉛花澱粉か普通の白粉おしろいを脱脂綿でふかける。

腫物

療法 腫物もたゞれやあせばも多く不潔が病因ですから入浴時は石鹼でよく洗ひ清めなさい。若し蔓延の兆あればすておかず、醫療の要があります。これすべて皮膚病

は腎臓病と密接な関係がありまして、ひどいおできになるとよく水腫を來すことがあ
るものです。奇體なもので、水腫を來すと腫物の方はなほりますが、その代り療治し
にくい腎臓病をわづらひます。

胎毒

世間でよく胎毒々々と稱へて頭一パイにできて居る腫物をなほすと體に反つて悪い
と云つてワザト放つておく習はしがありますが、あれは間違つてゐます。早いうちに
療治しないと、腎臓炎にかかり、水腫を來します。療治すると内攻するとよく人が云
ひますが、あれは、あべこべで療治しないからこそ内攻してむくむやうになるのです。

第二 神 經 系

夜間驚起(夜泣きとは別)

病因 哺乳兒を抱いてゆすぶつたり、「ねんねこ」にくるんで脊負つて居る中、窮屈

にすぎたり温かにすぎたりして、いくら泣いてもかまはなかつたり、乳母車に仰にのせ
て激しく引いたり、又はハンモックに眠らせながら、あまり揺つたりその他すべて神
經を強烈に刺戟したりするとよくこれに侵されます。

症状 夜中ねぼけて急に泣き出したり、床の上に起き上がつて騒いだりします。

療治 子どもの心身を安靜に保つのが何より第一です。大きい音響を近所でさせたり、まぶしい所へつれて行くことも慎まなければなりません。

かうしても尙習慣的に急に鋭く泣くやうでしたら或は臀部か脊骨あたりに故障があるのかも知れませんが醫師にお診せなさい。

不眠症(夜泣き)

病因 乳を飲みすぎたり、夕景寝つく前にあまり騒がしすぎたり、寢室が明るすぎたり、空氣の流通が悪かつたり、近所が騒々しかつたり其他乳不足であつたりするこ
と。

療法 病因を去つて安静を主とし優しく子守唄でも歌つてやれば大抵寝つきます。午後殊に夕景には成る可く眠らせない様にするといふです。ねせる直前に入浴させるのも一良法です。

痙攣(ひきつけ)

病因 胃腸病から起るものが最も多く其他誤つてこどもを落とすとか日光にあまり強くてらされるときか、凡て脳に充血を來すことがあると起きます。又インフルエンザ、肺炎、腦の病、種々の傳染病などで突然高熱を發した時にも起きます。これは主に五歳以下の弱い兒に多い病氣です。

症状 突然に發するものでして、眼を上眼にして、口を喰ひしぼり、がた／＼と身震ひし手足を烈しく動かしします。

療法 應急の處置としては靜安に臥せしめ、帶を緩め身體をくつろげて、呼吸や血液の循環に妨げのないやうにし、後頭部、額を氷か水で冷やすのです。

この際頬へ手をあてて見て冷たいやうでは冷やしすぎてゐる證據ですから加減しなければなりません。面部へ水を吹きかけてやるのもよいです。手足は湯たんぽで暖めなければなりません。又大便の通じが無かつた場合に幸ひに灌腸器の持合せがあり使用法の心得もあるなら早く灌腸を試みるがよい。一時間やそこら人事不省のまゝになつて居ても心配にはなりませんから、あはてないがよろしい。しかし醫者は急いで迎ひにやることです。

小兒癲癇

他に誘發の原因がないのに時々痙攣ける習慣があるのは癲癇であつて遺傳的のもの特發的のもの又親に腦の疾患があつた爲め、こどもがその遺傳から癲癇に變じた云ふのもあります。早く手當をすれば殆んど全治に至りますが重症のになると幾分輕くなる位で年と共に腦力が鈍くなります。

腦膜炎(驚風)

生後四五歳までの間が最も之れに侵され易い。これには徐々に来る結核性脳膜炎と急激に来る脳膜炎とありまして後者の方反つて治療し易いのですが兩者とも多く生命を奪ふもので又假令なほつたにした處多く故障を残し勝ちで程度の差こそあれ或は盲者聾者啞者になるとか手足の自由が利かなくなるとか、白痴になるとかします。

病因 結核性の遺傳又は傳染からおきますが、慢性氣管支カタル、百日咳、麻疹、骨の病なども誘因となります。

結核性脳膜炎の症状 最も初期の徴候は青い便をしたり乳を吐いたりし、又兒こどもによると却つて便秘をしたり軽い熱があつたりして醫師にも何んの病だか一寸わかりかねますが、數日乃至二週もかう云う状態が繼續しますと漸次脳膜炎の徴候が明かになつて來ます。即ち晝夜睡眠にのみ耽り眼がさめるともなくウト／＼して居りまして元氣が少しもなくなり親が勧めなければ二日も三日も乳も飲まず食物たべものも食べません。そして折々顔をしかめて頭部でも痛さうな容子をします。それから頂うなじの筋は堅くなつて居

つて手足を突張つたまゝ暫らく縮めもせず居たりすることがあります。さうかうして居る内に病勢は進んで來てやがて痙攣を起します。

急性脳膜炎の症状 突然に發熱し乳や食物を吐き、未だ口のきけない兒なら頻りに顔をしかめて頭の痛むやうな様子をするし、三四歳になつた兒なら頭痛する旨を切りに訴へます。それから間もなく痙攣をおこすものですが、兒によると二三日後のこともあります。

療法 脳膜炎らしい症状が見えたらすぐ醫師に診せることです。必ずしも直らぬものもでなし、直つて後、生活に差支ないものも随分ありますから手遅れせぬやうにするが肝要です。痙攣けた場合の手當は普通痙攣の時と同じことです。

脳水腫

症状 青便、吐乳、痙攣等の症状について頭に水がたまり著しく擴大して來ます。
療法 助からない場合が多いですが、手當その宜しきを得れば病勢を止め腦力にも

さして悪影響を及ぼさずにすることがあります。但し一旦擴大した頭は復舊しません。

小兒の蟲又は疳(神經過敏症)

俗に蟲が起つたとか疳が張つたとか稱へて、こどもがイヤにむづかり意地をやくことがありますが、よく蟲封じ疳呪禁まじなひをしてもらふ親達があるものですが、これは醫學上から云へば別に蟲封じの蟲とか、疳呪禁まじないの疳とか居るわけでなくたゞ兒の神經が

胃腸の弱い爲めや何かで過敏になつて居るだけのことです。
 療法 胃腸の健全を計り神經を静める様にすれば大抵なほりますが、もしあまりひどい様でしたら醫藥を服用させるがよい。

第四 呼吸器系

感冒

病因 襦袢かほろが大小便で汚れて濕つばいのを長く取り換へずに置いたり、急に寒い處

へ出すとか、大小便を外へさせながら今まで温ぬるつて居た所を急に冷やすとか、又は極端に厚着をさせて膚が始終汗ばんで居る様にして置くとかすると感冒にかゝり勝ちです。

症状 嚏くしゃみ・水鼻汁・咳・發熱・嘔吐など人のよく知る通りであります。

療法 俗に感冒は萬病の本とも云はれて居る程ですから重らぬ内に手當が肝心です。温かにして安臥させておくのが第一ですが冬季寒さが烈しく空氣があまり乾燥して居る折など室内によくおきた炭火を具へ、それに蓋かたを取つた鐵瓶をかけて湯氣を蒸發させるのです。熱が三十八度以上もありましたら水枕か何かで頭を冷やすがよい。咳がひどい様でしたら濕布や吸入の療法を試みるがよい。

序ながら濕布や吸入の仕方を説明させよう。

濕布の仕方 フランネル三重位にし、水又は湯に浸して堅く絞つたのをのどの悪い場合には頸の前半部に、氣管や氣管支の悪い場合には脊から胸へかけて巻き、その上

に打綿を油紙をかけて水分の去るのを防ぎ更にその上をタオルで巻き、三四時間おきに取り換へるのです。

吸入の仕方 軽い感冒(気管支カタル、喉頭カタル)などの時は抱いたまゝ又重病の時は臥させてするのです。吸入中、兒は泣くも眠るも横に又仰に臥するも妨げはありません。たゞ成人よりは十倍も多く薬液を使用する必要があります。蒸気で濕りますから大きいタオルか何かで兒の衣服夜具等蒸氣のかゝる所を蔽ふがよいです。

假性クループ

症状 突然に發するものであつて夜分など犬の吠えるやうな咳をしまして聲は嘶嘎れ息づかひは苦しく大層悶えます。又熱が出ます。總じてデフテリアによく似た症状です。

療法 夜中でもかう云ふ症状を呈したら取り敢えず頸部に濕布を施し醫師の來診を乞ふがよい。

毛細氣管支炎

病因 二三歳位までの兒に突然發する病であつて軽い感冒を引いて居る時など間がわるいとこれに侵されます。感冒とて等閑には出来ません。

症状 突然高熱を發し顔色蒼ざめ、胸には激しい波を打たせ息つかひ苦しく咽喉はごろ／＼と鳴り、今にも息を引きとるやうな様子になります。

療法 取り敢えず芥子を熱湯でとき、眼にしみるほどにこしらへて、これを紙にし、背から胸にかけて張りつけるのです。大抵二十分もしたら息つかひもやゝ樂になりますし、芥子の爲めにヒリ／＼しますから、之れを、はがして此度は熱い湯に白布又はフランネルを浸して絞つたもので背、胸部を濕布するものです。(濕布の仕方參照) 芥子をへがしたあとは皮膚が赤くなつて火傷した様に見えます。

醫師の來診を乞ふことは勿論です。

扁桃腺炎

症状 飲食物をのみ下さうとすると咽喉が痛み、熱があり食慾不進にして元氣がない。口をあけて見ると、扁桃腺が赤くなつて肥大して居るのが見えます。又顎の下によくグリ／＼が出来ます。

療法 細く割つた氷を細長い氷嚢に入れてハンケチで包み、之を襟巻のやうに頸へ巻きつけて置く。其他含嗽薬、塗り薬の必要がありませんから醫師に御診せなさい。

智惠熱

俗に智惠熱と云つて四五歳までの兒が時折發熱することがありますが、あれは大抵扁桃腺炎か腸胃の疾患が原因をなして居るのであつて、智惠のつく爲めに特別に熱が出るとは考へられません。

又原因未詳の熱はみだりに下熱劑を用ゐたり頭を冷やしたりしてはいけません。それから滿一歳前の兒が發熱して頭を冷やす場合には大抵水で澤山です。

肺炎

症状 元氣なく、食慾不進、咳出で息つかひせわしく高熱があります。此の病は大抵七日目、九日目、長くとも十一日目には急に下熱すると同時に元氣がつき食慾も進みますが、下熱するかと思ふと又熱が出て後、二三日して全く快方に向ふものがあります。さうかと思ふと長引くのもあります。

療法 背部胸部に水濕布を施し又は氷嚢で冷やし二時間毎に吸入すること。病室内を六十度内外の温度に保つておくこと。水蒸氣のたつ様にして空氣を濕らすこと。消化し易い滋養物をとらせること。其他醫師の指揮をまたねばなりません。

此の病は熱が非常に高いので心臟に疲れを來し、全身衰弱を招ぎ易いですから餘程看護に氣をつけないといけません。

肋膜炎

症状 咳をしたり、呼吸したりする時、胸腹が痛むことを訴へるやうでしたら、此の病の疑ひがありますから醫師に診せた方がよい。

第五 泌尿器

腎臟炎

症狀 これは猩紅熱などに併發し易い病氣で、小便赤味を帯び、且量を減じます。又水腫を來し、熱があり、食慾不進にして、元氣がなくなります。

療法 務めて安臥させ淡泊な食物主に牛乳を與へるがよい。醫師にお見せなさい。

第六 傳染病

チフテリア

これは散在性の流行病であつて感冒ひき中などによく侵されます。同じチフテリアと云つても色々種類があり、咽頭に病があるものを咽頭チフテリアと云ひ、喉頭のを喉頭チフテリア(一名クローブ)と云ひ、鼻のを鼻チフテリアと云ひますが、咽頭のが

喉頭にうつり、鼻のが咽頭に蔓延したりして、必ずしも一定しては居ません。中で最も難症なのは鼻チフテリアで次が喉頭チフテリア、咽頭チフテリアは最も軽いです。

咽頭チフテリアの症狀 初めは咳嗽は出ませんが、大抵三十八九度からの熱があり

元氣がなくなつて食慾も減じます。そしに咽頭即ち口を開いて奥の突當りの所に白い膜が出来ます。これはチフテリア菌です。

喉頭チフテリアの症狀 喉頭がこれに侵されると狐でも鳴くやうにコン／＼咳嗽を

し、聲が噎れます。勿論熱もあります。重くなるにつれて音調が變り呼吸するにもヒュー／＼と云ふ音がして如何にも苦しうです。喉頭は咽頭より奥の方ですから口を開いても白い膜は見えません。

鼻チフテリアの症狀 鼻聲になつて飲んだものを鼻から吐き出すことなどあります。

凡そチフテリアはその何の種類たるを問はず非常に危険な病氣であつて最も輕症と

せらるゝ咽頭デフテリアでも發病後五六日経つては最早手おくれであつて或は窒息を起すか或は病毒が全身に廻つて心臟麻痺を起すか、さもなくとも重い腎臓炎の餘病にかゝつて多く仆れるものです。

療法 手おくれにならぬやう血清注射療法によれば大抵重ならないで助かりますから若しデフテリアらしい徴候を發見したら時を移さず醫師に診せることです。

この病は非常な傳染性を持つて居りますから病兒と遊んだ兒は豫防注射の必要があります。

又病兒が全治したら家の内をよく消毒しなければなりません。まづ疊は日光に曝し又消毒薬にてよく拭き、唐紙、障子なども外して日光にあてるのです。それから病兒の用ゐて居つたものは蒲團毛布のやうなものまで焼き捨てた方がよい。

・百日咳

症状 これは五六歳までの兒に多い病で熱はないが咳を多くします。殊に夜分がは

げしい。そして咳する時ヒュー／＼と息を内へ引くようにします。食後にはよく食べたものを吐き、食事と食事の間にはゲーツ／＼といつて空吐きをすることが日に何回もあります。

ひどいになると咳の出る時には顔色青ざめ唇は紫色になり息も絶え入らなければに苦しみます。

此の病に罹つて居て風邪をひき發熱すれば多く肺炎等になります。

療法 病因がわからず従つて特效薬もありませんから先づ／＼風邪をひかせぬ様にして餘病の併發を防がねばなりません。百日咳の名の通り中々長いこと咳が出て居りますから、ついなげやりになり勝ちなものです。

あまり咳のひどい時には背を軽く叩いてやるか、肋骨部を撫でさすつてやりなさい

インフルエンザ(流行性感冒)

症状 突然高熱を發し痙攣をおこすことすらあります。

療法 安臥させ、すべて感冒の場合の如く取扱ふ。若し痙攣を起しましたらその手當をしないさい（「痙攣」の項参照）すべて児の高熱は脳によくない影響を與へ勝ちですから卅八度を越えましたら頭部を冷やすがよいです。

疫痢（ハヤテ）

これは赤痢に似て、赤痢よりも劇しい病氣です。これにかゝると頓に高熱を發し、又下痢をおこし昏睡状態に陥ります。多くは助かりません。病因はまだよくわかつて居ないさうですが、買喰ひを何とも思はず放任してさせる家庭に多いやうです。

水痘（みづぼうさう）

症状 胸、腹、顔などにポツ／＼水疱が出來ます。大いさは櫻の實の種子ほどであつてあたりが赤らんでふくれて居ます。熱も卅九度内外あります。

療法 寒い思ひをさせぬやうにして安臥させておくのが一番です。極端な發熱さへなければ薬用の必要はありません。三四日すれば獨りで褐色の顆になりまゝです。こゝ

もによるとあとがごがめて腫物になることもありますから、さう云ふ場合には腫物の手當をしなければなりません。

麻疹（はしか）

症状 二三日熱發を續け恰かも感冒のやうな症状を呈してから全身に赤い小疹が出來ます。咳も随分します。眼のふちが腫れたれ又鼻が塞がつたやうになることがあります。

療法 暖かにしておくのが第一です。食物も消化し易いものを選びねばなりません。小疹がなほると共に熱も下り元氣も出ますが此の恢復期が中々大事であつて肺炎を併發するのは多く此の時です。古から麻疹を命定めと云ひ習はして來たのは此の併發症の恐ろしい故です。下熱後三四日はよく氣をつけ、それから入浴させるがよいです。これは誰でも一度はする一種の傳染病ですが餘り大きくなつてから罹ると比較的重いと云ひます。

猩紅熱

三歳から十歳位の兒の罹り易い傳染力の激しい重病です。

症状 熱が非常に高く頸部胸部などより始まり手足、脊腹、腰まで小さな發疹があつて紅色になります。

療法 六ヶしい病ですから醫師の指揮を待つ外ありません。傳染力が激しいから、健康兒を隔離する必要があり、又病兒の、この病に侵される數日前から持つて居つたものや、身につけて居たものは、すべて焼き棄てなければなりません。

第七 眼・耳病

膿漏性結膜炎

病因 よくない病に侵されて居る母親から、こどもの産れ出る際に腔中の膿汁がその眼に入る爲めです。

症状 生後間もない兒の兩眼が腫れふさがつて黄白色の膿汁が出ます。

療法 専門醫の治療を御受けなさい。

結膜炎

症状 白眼が赤くなり、寝おきなどに眼脂めじりが出ます。

療法 四五十倍位の硼酸水に浸したガーゼを清潔な割箸か何かで、はさんで、こどもの眼を一日數回洗ひ淨めてやりなさい。尙よくないやうでしたら醫師の診を仰いだ方がよい。

中耳炎

病因 哺乳兒にあつては營養不良の者に來る事が多く、モツト成長した兒にあつては、インフルエンザ、麻疹、デフテリア、腸チブス、猩紅熱等の急性傳染病にかつた時に發し易い。

症状 耳から膿汁が出、又熱を發します。治療を怠ると腦膜炎になることがあります。

す。

療法 専門醫の療法によらねばなりません。

第八 全身病

初生兒破傷風(ぼ、づきむし)

病因 臍帶の取扱、消毒の不完全などから起ります。

症状 熱が出て乳も飲まず、遂に仆れるものが多い。血清療法がありますが、効驗

著しくないさうです。されば臍帶及びその落ちたあとの傷の手當は等閑にしてはなりません。

初生兒乳腺炎

病狀 乳房が凡そ廿錢銀貨大に堅く腫れ上つて試みに絞れば白い乳汁の様なものが出ます。

療法 軟い綿のやうなものをあて、餘りいちぢらぬ様にして置けば直りますが時によりと化膿することがあります。かうならない内に醫師に見せる事です。

腺病

病因 結核性の病氣を持った親の兒に多いやうです。

症状 全身が細く瘦せて貧血して居り、顔色もすぐれず、見るからに弱々しい。

頸のまはりや腋下わきのしたにグリ／＼があります。

療法 日光にあたり、清い外氣中に生活するやうにし、朝晩(起床直後、就床直前)冷水摩擦を怠らずして皮膚を強め、又節制して腸胃を健全に保つこと。

重症の者になると手術してグリ／＼を取り除かねばならぬものもありますから醫師にはかる必要があります。

(二) 學齡兒童の罹り易い疾病

こゝには前記諸病の外、學童の特に罹り易い疾病について述べます。

トラホーム

これは極めて傳染し易い而かも頑強な慢性的眼病であります。これに急劇に來るものと、徐々にくるものと二種ありますが、急性のものも治療しないでおくと慢性症に移行します。

● 症状 慢性トラホームの症状を便宜上四期に別つて述べます。

第一期 は極めて輕症であつて専門醫ですから時にそれと氣附かぬ程であります。

第二期 になれば眼脂が出、眼に沙礫介在感(すなが入つたかんじ)があつて、ごろ／＼、時に痒いやうな感じもします。此の期を顆粒期といつて眼瞼結膜に顆粒が生じます。

第三期 に進めば、先の顆粒は自然に吸收されて消滅し角膜に新らしく顆粒が発生しまして、患者は羞明を覺え涙が大層出て、眼球には痛みを感じ、角膜には星が出來、

物がよく見えなくなります。此の時期が最も危険でありまして治療を加へなければ、病勢募つて遂に失明の不幸を見るに至ります。

第四期 は所謂癍痕期であつて眼瞼結膜は元のやうな光澤がなく、眼瞼縁は變形して逆睫毛となり、瞬目する毎に眼球を刺戟してそれは／＼煩累いものです。

● 療法 早い内に専門醫にかゝるがよい。

難聴(遠耳)

懷中時計を遠い場所から漸次耳に近づけて、一間位な距離でその音を聴き得るものを健康な耳とし、それよりも近くなければ聴こえぬは難聴であります。

● 病因 耳や鼻の病が多く誘因となりますが、學齡兒童にあつては、腺増殖による場合が少なくありません。此の腺増殖とは咽頭扁桃腺が増殖して大きくなる病であつて、中耳の炎症や難聴を起し又鼻呼吸を妨げます。これは三四歳以後殊に六歳から十一歳の間に障礙を來すこと甚だしく、しかし發情期以後は組織の退化によつて障礙も消滅

するものであります。

●**症状** ポカンと口を開いて呆然して居て、鼻呼吸を営みません。これ口から音響を耳に傳達せん爲めであります。

●**療法** 熟練せる専門醫に診察して貰ふことです。

●**狂水病(狂犬病)**

●**症状** 狂犬に咬まれてから二週間位たつと、甚い痙攣、腦病などを起して随分死ぬものです。

●**療法** 兒童が狂犬に咬まれたら出来る丈、早く注射療法をお受けなさい。一週間もたつてからだと病毒が全身に廻つて假令注射してもききません。

●**齶齒(かしば)**

齶齒の徴候が見えましたら、放任して置かず、齒科醫に治療を乞ふことです。いたむやうになつては兒童のことですから看護がしきれませんし、又胃腸は障礙を受け、

それに結核菌も齶齒から入り込む恐れがあるさうです。

●**脊柱彎曲(猫背)**

學齡兒童に脊柱彎曲の傾向が見えたら休校させて治療しないと取り返しのつかぬことになります。

これは大抵學校の机の構造が不適當な爲めに起るものでありまして單に姿勢が悪くなるばかりでなく、胸廓を押縮め、肺臟、心臟等によくない影響を及ぼします。

●**神衰衰弱**

●**病因** 學童の生活にふれざる無趣味にして過度な注入教授、又運動不足等。

●**症状** 頭痛がしたり、頭腦が何となく重いやうに感じたり、眩暈がしたり、起つとフラ／＼したり、食欲が進まなかつたり、嘔氣があつたり、夜間安眠が出来なかつたり、悸氣がしたり、物に驚き易くなつたり、記憶力が減じたり、又身體の所々が痛んだりします。

療法 斷然休校させ成る可く頭を使はせぬやうにすること。

一種の病的状態

幼兒期の終り頃即ち八歳頃から十歳位の間は、齒の生え替る時であり、筋骨と心臓との發育が調和を失して居る爲めに、心身共に異状を呈し、高熱を發して、一見感冒か腸チブスにでも罹つたやうな症状を呈することがあります。周到なる看護が必要です。

ある種の愚鈍兒

物覺えのわるい兒をしらべて見ると、まゝ腺炎がもとで鼻疾を患つて居る者があります。これは簡単な手術で雜作なくなほり知能もはたらいて參りますから手遅れせぬうち醫療を乞ふべきです。

(二) 青年處女期特殊の疾病

一般に神経系及び生殖系の病が多く、製血機關の障得も少なくありません。即ち萎黄病・貧血・ヒステリー・神経衰弱・癲癩等の諸病が起り易く、肺結核も屢々見る所であつて、経過の速かなものが多い。

病因は大抵生殖機能の濫用か遺傳に本づいて居ます。

近視眼が亦著しく増加します。

それから心臓の病とか形態異常とか潜伏性のもものは此の時期になると愈鮮明にあらはれて來ます。

第六章 結語

こゝまで賢しらに兎や角と説くには説いて來ましたものゝ、省みて我が身の不徳無識を思へば、衷心甚だ忸怩たらざるを得ないものがあります。

されば、人に教ふるにはあらで、寧ろ我れと我が爲に、重なる身の罪障の、何程

か輕まりもせんと、かくはいみじくものしつとおぼし給へ。拙なきは固よりぞ、或は説いて精しからず、傳へて誤あらんことを深く畏れ慎んで居ります。

今、茲に筆を擱くに當り、非禮の極みながら、釋尊が鑿に倣つて、一卷の文字を抹殺し、敬虔の思ひもて神佛の御前にひれ伏し、たい願くば「よろしきにかなはせたまへ」と、ひた祈りに禱る……合掌三拜。

附 録

お話と讀みもの

一、お 話

(一) お話の意義

こゝに云ふお話しとは、ひろくちいさい兒童（私共の提唱する一種の早教育法によつた兒なら六歳前後まで、在來の教育法によつた兒なら十二歳までのもの）に話す「お話」の謂であつて、大略、繪物語・唄物語・笑話・お伽話・寓話・昔ばなし・傳説・神話・歴史譚・事實談・自然界の話・理科談・地理談等に區別することが出来ます。今一々について、あらましの解説を試みて見ませう。

繪物語 とは、こども向きの繪についての簡單な話。

唄物語 とは韻をふんだ短い話。

笑話 とは別にこれといふわけなしの無邪氣な笑ひ話。

お伽話 とは特にこどものために作られた、興味あり、教訓を含んで居る奇異な話で、一に假作童話と稱せられます。

寓話 とは巧みに動植物又は無生物を人格化して取扱ひ、裏面に教訓の意を寓して居る話。例へばイソップ寓話の如きもの。

昔ばなし とは民間の云ひ傳へであつて、假へば「桃太郎」「舌切雀」の類。これは同じく云ひ傳へと云つても傳説の如く史的要素を備へて居らず、又神話の如く神々に關したものでありません。一に民族童話の名があります。

傳説 とは一定の時代、一定の場所に於ける一定の人の奇異なる若しくは非凡なる事績についての民間の云ひ傳へであります。例へば「大江山」「俵藤太」の類。

神話 とは太古原始人、若しくは現存野蠻人の神仙譚であります。例へば「天の岩戸」「珊瑚島」(小波編世界お伽噺第三編)の類。

歴史譚 とは歴史的人物の實際の傳記、逸話の類を云ひます。

事實談 とはこゝでは現在の實話をさします。

自然界の話 とは理科談、地理談を特に小さいこどもの爲めに興味あるやう動的に取扱つたものです。

理科談、地理談は説明するまでもありますまい。

(お話の分類については、水田光氏に依る所多し)

(二) すぐれたお話

すぐれたお話の資格を極概括的に云ふて見れば、

一、いづれにも感興を與へること。

- 二、一篇の旨意が背德的でないこと。あまり残忍な事からを含んで居てはなりません。此の意味で昔ばなしなどにも改作の要あるものがあらうかと思ひます。寓話は勿論、お伽話、事實談等には同情心や没我的精神の濃厚に現はれてるものがほしい。
- 三、あまり荒唐無稽に走りすぎても困りますが、神話、傳説など、相當に想像力を刺戟する要素を具へて居らねばなりません。
- 四、戯曲的であること。描寫がまざ／＼と目のあたりに見るやうにあつてほしい。
- 五、生活に必須な知識が巧みに編み込まれてあること。自然界の話、理科談、地理談は勿論、お伽話のあるものも此の資格を備へてることが必要です。
- 六、笑話の取扱ふ諧謔はあくまでも無邪氣にして又上品なことを要します。
- 七、よく洗練された言葉で美しく又力ある筆致でかゝれたものであつてほしい。特に之を云ふのは「お話」は話してきかせるより寧ろ讀んできかせたいからです。これはこどものことを成る可く早くから文字に親しませたいのと、それから私共の話す

言葉は兎角、亂雑に流れ勝ちで、こどもの模範にし難いから、依つて以て標準語を授けやがて又國民日用語の統一普及に資せようとの用意であります。

八、繪畫の助けあることが是非必要です。但し彩色のゴテ／＼した拙悪なものなら、寧ろない方がましです。

九、「お話の本」は印刷が鮮明で活字もなる可く大きくし(四號位が適當)一體に手にとつて見て感じのいゝやうに、こしらへられなければなりません。

(三) 嬰幼兒期のお話(約満一歳から満三歳頃まで)

満一歳前後から

- イ、美感的な繪物語
- ロ、單純な唄物語

これらは幼年畫報(博文館月刊)の中などによいものがあります。

満二歳前後から

ハ、無邪氣、上品な笑話

ニ、イソツブ寓話

ホ、複雑でないお伽話

ヘ、日本昔ばなし

ト、自然界の話

笑話は幼年畫報などにあります。

イソツブ寓話は原作のまゝでは少々不都合に思はれるふしもありますので、借越ながら試みに私が抜萃改作して見たものがあります。追つて改作イソツブ寓話として出版させて貰ひませう。此の時期のごとにもふさはしいお伽話は幼年畫報にのつてゐるサザナミ作のものや小波著新お伽百話(博文館、一圓八十錢)中、左記のものなどが適當と思はれます。

| | | | | | |
|----|--------|----|--------|----|---------|
| 二四 | 鶏になる玉 | 四七 | 尻尾くらべ | 五四 | おむすび先生。 |
| 五五 | 子雀のお土産 | 五六 | 風の子 | 五七 | 飛行機蜻蛉 |
| 六〇 | 澁柑柑 | 六一 | 鶴の兄弟 | 六三 | お池騒動 |
| 六四 | 蝶の片羽 | 六六 | 蟲三匹 | 六八 | 黒猫白猫 |
| 六九 | 鳴く蟲飛ぶ蟲 | 七一 | 菊の主 | 七二 | はつば物語 |
| 七三 | 大牛小牛 | 七四 | 雪達磨の功名 | 七五 | 父の雛 |
| 七六 | 雲雀の玉乗 | 七七 | うかれ金太郎 | 七九 | 洞の寶 |
| 八〇 | 蟹蝸競争 | 八一 | 人籠 | 八二 | 無氣味草 |
| 八三 | 雁の迷子 | 八四 | 落葉 | 八八 | 蝶々塚 |
| 八九 | 鐘馗と金太郎 | 九三 | 蟬の別れ | 九四 | 勝蟲の萬歳 |

日本昔ばなしは同じく小波氏の著に日本昔噺と云ふ叢書(博文館、一冊十錢)がありますが、少しこつた書ぶりで、此の年頃のごとにもは程度が高すぎますから、これは

原作のままでは讀んできかすのには少し都合がわるいやうです。此の叢書中、私の
ふ意味での昔ばなしとしては左の入篇を撰びたいと思ひます。

- 一 桃太郎
- 三 猿蟹合戦
- 五 花咲爺
- 七 舌切雀
- 九 かち／＼山
- 一〇 癩取
- 一八 浦島太郎
- 一九 一寸法師

自然界の話 邦語で出版になつてゐるものに適當なものはないのを遺憾とします。

(四) 幼兒期のお話(約満三歳から満六歳頃まで)

満三歳すぎから

- イ、お伽話
- ロ、日本の傳説・神話
- ハ、世界の傳説・神話

ニ、自然界の話

教訓、知識兼備のすぐれたお伽話として左記のものを撰ばせて貰ひます。

小波著新お伽百話(前出)中の

- 一九 燕島
- 二二 霜草紙
- 二九 花の音
- 三〇 天國の門
- 三七 巨人の玩具
- 四一 龍と文覺
- 四三 米子の小猫
- 四四 鶯問答
- 四九 福壽三郎
- 五二 字の夢、假名の夢
- 九〇 一本で三人
- 九二 大入道が!
- 九六 日の出の兎
- 九七 鯉の夢

鈴木三重吉編世界童話集(春陽堂、一冊五十錢)これは初めの方のよりは比較的後の
集がすぐれて居るやうです。

馬淵冷佐 共著お伽文學(寶文館、一冊三十二錢、全部十二篇)

水田光 小波著日本お伽噺附録小波お伽噺(博文館、一冊十錢)

附録 お話と讀みもの

小川未明著、星の世界から(岡村書店、九十錢)

日本の傳説神話としては

小波著、日本昔噺中の

四 松山鏡

六 大江山

八 俵藤太

一二 文福茶釜

二〇 金太郎

二二 雪雀山

二三 牛若丸

小波著、日本お伽文庫(博文館、一冊拾貳錢)

澁川玄耳著、日本乃神様(子寶俱樂部、一圓七十錢)

尙参考書を舉ぐれば

小波編、東洋口碑大全(博文館、三圓)

高木敏雄著、日本建國神話(興文館)

澁川玄耳著、日本神典古事記噺(博文館)

五十嵐力著、趣味の傳説(二松堂、一圓二十錢)

世界の傳説神話としては

小波著、世界お伽噺(博文館、一冊十二錢)

参考書を舉ぐれば

杉谷代水著、希臘神話(富山房)

松村武雄著、歐洲の傳説(金尾文淵堂、一圓八十錢)

自然界の話 時に幼年世界などによいものが載ることもありますが、單行本として

適當な書籍のないことを遺憾とします。

満四歳半前後から

ホ、歴史譚

へ、事實談

ト、理科談

チ、地理談

歴史譚としては

小波著日本お伽噺(博文館、一冊八錢)

少年歴史の庫(博文館、全部四冊一冊五十五錢)

参考書を挙げれば

巖谷小波合著少年日本歴史(博文館、全部六冊、一圓廿錢)

萩野申之著少年日本歴史讀本(博文館、全部十八冊、三圓五十錢)

新保磐次著趣味の日本史

青木武助著大日本歴史集成(隆文館、二冊五圓八十錢)

箕作元八著西洋史新話(博文館、一冊五十五錢宛)

近世英傑傳(大日本文明協會編、二冊五圓六十錢)

近世名婦傳(大日本文明協會編)

事實談

郷土に實際おこつたこと

新聞雜誌の記事等

理科談

國家理科教科書(教師用)

堀七藏著^{兒童の疑問}理科智囊(同文館、八十五錢)

同 同 日常の化學(同)

同 同 人の身體(同 一圓廿錢)

参考用としては

中學校用博物、物理、化學教科書

龜高德平著化學と人生(丁未出版社、一圓八十錢)

普通教育理科教授資料(鐘美堂、二冊もの五圓)

附録 お話と読みもの

地理談

木村小舟等合著、少年日本地理(博文館、全部七冊一圓四十五錢)

小波、著、幼年世界讀本(博文館、全部十二冊二圓四十錢)

紫草、著、幼年世界讀本(博文館、全部十二冊二圓四十錢)

大町桂月著、關東の山水

田山花袋著、山水小記

矢律昌永合著、歴史的日本地理(南北社、三圓)

横井春野

牧口常三郎著、人生地理學(文會堂、二圓七十錢)

角田政治著、外國地理集成(隆文館二冊もの)

一、読みもの

「お話」の部にのせた本は、大抵そのまま読みものとして用ひられるやうなのを撰ん

でおきました。が、こどもの讀書力は、最初しばらくの中、お話を理解する力より、自然遅れるものですから、そこを加減しなければなりません。

(一) 嬰兒期の読みもの(約満一歳より満三歳頃まで)

イ、幼年畫報

ロ、尋常小學國語讀本卷一(國定教科書)

最初、繪を伴つた單語、短句(片假名)から始めて、漸次、笑話や短いあつさりしたお話などに進むやうにするがよい。

(二) 幼兒期の読みもの(約満三歳より満六歳頃まで)

満三歳前後から

イ、幼年畫報

附録 お話と読みもの

ロ、尋常、國語讀本卷二・三

参考書

漢字 語句教授資料(國定讀本教授法研究會編、杉本書店、一圓卅錢)

滿四歳前後から

イ、尋常、國語讀本卷四・五

ロ、幼きものに(島崎藤村著、實業之日本社、六十錢)

ハ、こほろぎと象(落合太郎著、阿蘭陀書房、七十五錢)

ニ、カチカチ山と花咲爺(武者小路實篤著、阿蘭陀書房、一圓卅錢)

ホ、世界童話集(鈴木三重吉編、春陽堂、一冊五十錢)

ヘ、お伽文學(馬淵冷佐著、寶文館、一冊三十二錢)

ト、古事記、日本乃神様(澁川玄耳説明、子寶俱樂部、一圓七十錢)

滿五歳前後から

イ、尋常、國語讀本卷六・七・八

ロ、日本お伽噺(巖谷小波著、博文館)

ハ、世界お伽噺(同)

ニ、尋常課外讀本(葛原幽編、博文館、一冊二十八錢)

ホ、星の世界から(小川未明著、岡村書店)

ヘ、オトギ(矢口達著、實業之日本社)

ト、兒童の理科智囊(堀七藏著、同文館)

チ、日常の化學(同)

リ、人の身體(同)

ヌ、少年日本地理(木村小舟等合著、博文館)

ル、少年世界讀本(小波合著、博文館)

ヲ、關東の山水(大町桂月著、博文館、一圓)

ワ、山水小記(田山花袋著、文陽堂、一圓十錢)

(三三) 幼年幼女期の読みもの(約満六歳より満十歳頃まで)

宗教・道徳書類

イ、佛陀の聖訓(常盤大定著、博文館、八十錢)

ロ、改_イバイブル

ハ、論語

尙、次期には佛教經典・四書・三聖・聖徳太子・親鸞・セントフランシス・トルストイ、傳記等を読ませるがよい。

文藝書類

イ、尋常_イ國語讀本卷九・十・十一・十二

ロ、高等_ロ國語讀本卷一・二・三・四

参考用
高等小學讀本參考
(馬淵冷作著、弘學館)

ハ、中等學校國語教科書(信すべき註解書を具ふるも妙)

ニ、自然と人生(徳富蘆花著、民友社)

ホ、獨歩集(國木田獨歩著)

ヘ、光りあるうち、光りの中を歩め(トルストイ著、阿部次郎譯)

ト、脚_トある青年の夢(武者小路實篤著)

チ、脚_チ緑の野(秋田雨雀著)「三ツの魂」といふ單行本の中にあり。

リ、小_リある僧の奇績(田山花袋著)

ヌ、我輩は猫である(夏目漱石著)

ル、少年行(中村星湖著)

ヲ、日本建國神話(高木敏雄著)

ワ、歐洲の傳説(松村武雄著)

附録 お話と読みもの

カ、明治詩歌撰(藤村、晚翠、泣菫、晶子、有明、鐵幹、新潮社、三十錢)

ヨ、金子薫園集(新潮社、六十錢)

タ、若山牧水集(同)

レ、白き路(尾上紫舟著、有明社、七十五錢)

ソ、歌新月(佐々木信綱著、博文館、七十錢)

ツ、Tutu Ni Kaerite.(鳴海ふらぶる著、日本ろーま字社、五十錢)

ネ、藤村詩集(島崎藤村著、ろーま字で書いたものは岩波書店から發賣になつて居る)

る)

ナ、天地有情(土井晚翠著、博文館)

ラ、印度更紗(北原白秋著、金尾文淵堂)

ム、子規句集(靑山書店、三十五錢)

ウ、新傾向句集(碧梧桐著、日月社、一圓)

キ、俳句評釋(碧梧桐著、求光閣、三十五錢)

次期には引續き、殘雪(田山花袋)・出家とその弟子(倉田百三)・無花果(中村春雨)・坪内逍遙、幸田露伴、森鷗外、樋口一葉の代表作、藤岡博士の國文學史、國文學の諸書、左傳・史記等の漢書及びトルストイ・ロマンローラン・イブセン・ホヰットマンそれからシエークスピア・ユーゴー・ゲーテ・ダンテ・ホーマー又カーライル・エマソンの如き歐米代表作家のものを讀ませるがよい。

歴史書類

イ、少年日本歴史讀本(萩野由之著、博文館)

ロ、日本外史

ニ、西洋史新話(箕作元八著、博文館)

次期にはセイニヨボースの文明史、有賀長雄著日本歴史、瀬川秀雄著西洋通史、桑原隲藏著東洋史等を讀ませるがよい。

地理書類

- イ、少年日本地理(博文館)
 - ロ、少年世界讀本(同)
 - ハ、歴史的日本地理(「お話」の部参照)
 - ニ、外國地理集成(同)
 - ホ、人生地理學(同)
 - ヘ、日本一周(田山花袋著、博文館、三圓六十錢)
 - ト、枕頭山水(幸田露伴著)
 - チ、順禮紀行(徳富蘆花著)
 - リ、大英游記(半球周遊)(杉村楚人冠著)
- 次期には法制・經濟・政治・社會の諸學に關するものを讀ませるがよい。
- 理科書類

- イ、國定理科教科書(教師用)
 - ロ、中學校用博物、物理、化學教科書
 - ハ、進化論講話(丘淺治郎著、開成館)
 - ニ、化學と人生(龜高德平著、丁未出版社)
 - ホ、世界の衣食住(櫻井鷗村著、丁未出版社、二圓四十錢)
 - ヘ、普通教育理科教授資料(鐘美堂、二冊、五圓)
- 次期には天文、地文、生物の諸學に關するものを讀ませるがよい。

漢文

中學校用教科書

英語

- 1. 中學校用第一リーダー
 - 2. Aesop's Fables. Arranged in Words of One Syllable for Young Children. By
- 附録 お話と讀みの

Godolphin

3. Andersen, H. C. Fairy Tales and Stories. By Dr. H. W. Duleken
4. Arabian Nights Entertainments, Arranged for the Perusal of the Young. By Mrs. Sugden.
5. Grimm's Fairy Tales for the Children and Household. By B. Marshall
6. Robinson Crusoe. By Daniel Defoe.
7. Gulliver's travel. By Jonathan Swift.
8. Biographical Stories By Nathaniel Hawthorne.
9. Parley's universal History.
10. Tales from Shakespeare. By C. Lamb.
11. Autobiography By B. Fran Klin.
12. 中外英字新聞.

13. Bible

エスペラント

組織的研究エスペラント講習書(日本エスペラント協會横須賀支部會發行)

本書を編むについて調べた主なる邦文参考書

性慾論 書名

兒童生活と其の教養

兒童研究の原理

教育に應じたる兒童研究

兒童學概論

兒童と研究

兒童學綱要

青年期の研究

日本健體小兒發育論

兒童心理學

胎教

御産の心得

早教育と天才

編著者

トリス トイ 著

相馬 御風 譯

ヒツビウス 原著

カークバトリック 著

日田 權一 譯

高島 平三 郎

關 寛 之

五十嵐 力

日本兒童學會

スタンレーホール 著

元長博士等 譯

三島 通 良

松本 孝次 郎

下田 次 郎

吾妻 勝 剛

木村 久 一

發行所

新 潮 社

大日本文明協會

目 黒 書 店

洛 陽 堂

洛 陽 堂

金 尾 文 淵 堂

洛 陽 文 淵 堂

同 文 館

大日本圖書株式會社

博 文 館

實業之日本社

大倉 書 店

心理學研究會

8 2 2 5 24 3 26 21 20 19 18 17 16 15

どうして小兒を育てるか
人の教育
エミール
最新育兒法講話
學校及家庭に於ける兒童生活
教育的心理學
實驗上の育兒
愛と操(リエンハルトとゲルトルド)
大村教育著述全集
モンテッソリ教育法の真髓
モンテッソリ女史教育の原理及實際
心理學審義
現今教育の研究
穎才教育
實驗教育學

ス トーナー 著
中川八郎 譯
フレルハル 著
エルツハル 著
三浦美知 著
長尾美知 著
山下源之 著
山本甚太郎 著
大瀨甚太郎 著
瀨川昌 著
野田豊實 著
大村仁太郎 著
河野清丸 著
今西嘉藏 著
福來友吉 著
小西重直 著
乙竹岩造 著
乙竹岩造 著

アールス 書房
警文 醒
隆文 亞
東陽 堂
洛文 陽
廣文 橋
新文 橋
隆文 橋
北文 橋
大文 橋
寶文 橋
同文 橋
目文 橋
目文 橋

教育學精義
宗教心理の研究
智能測定及個性觀察
教授法の新研究
實際的教授法
國語學講義
現今教育思潮批判
現代教育觀
不用意が招く愛兒の死
育兒日記 親ごころ
お話の研究
お話の實際
お話の仕方

森岡常 藏
石神徳 門
市川源 三
横山榮 次
田中山 廣
保科宇 一
吉田熊 次
伊藤長 七
河合三 郎
小原三 郎
水田光 光
水田光 光
下位春 吉

六合風 館
目文 書
廣文 書
同文 書
日本學術普及會
同文 館
洛陽 堂
文陽 堂
大日本圖書株式會社
大日本圖書株式會社
同文 館

大正十一年三月十日印刷
大正十一年三月廿日發行

兒童を愛するの道・定價二圓三十錢

著作權所有

著者 松下 吉 衛
東京市京橋區南鍋町一丁目二番地
隆文館株式會社代表者
發行者 星 嶋 二 郎
東京市京橋區築地二丁目三十番地
印刷者 川 崎 佐 吉

發兌元 東京市京橋區南鍋町一丁目二番地
隆文館株式會社

△振替貯金口座東京八五三番▽
△電話銀座一七八〇・二二四〇・二二四一番▽

川崎活版所印行

56
179

終

